

Windows 2000 に USB ドライバ(Ver1.0a)をインストールする

2002.4.2 シグマ光機 技術センター

インストールする前に

パソコンの Windows2000 へ ActiveX がインストールされているか確認する必要があります。

予め Mark シリーズ (202,204) コントローラのメモリスイッチ 15 INTERFACE を USB に変更します。

(Mark 202,204 取扱説明書をご覧ください。)

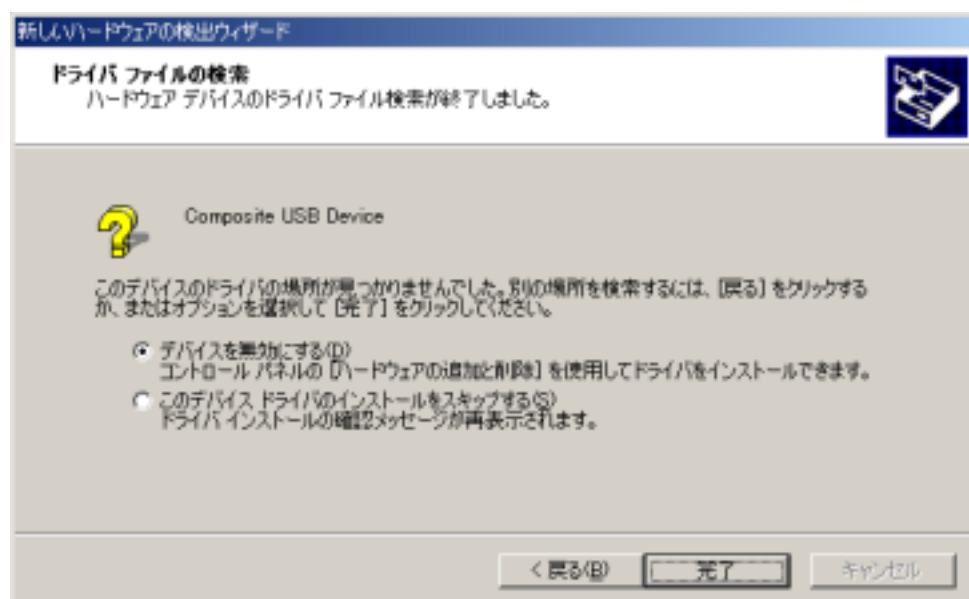
ドライバのインストール手順

1. パソコンの電源スイッチを ON にして、Windows 2000 を起動します。
2. Mark シリーズ (202,204) コントローラとパソコンの USB インターフェースを USB ケーブルで接続します。
3. Mark シリーズ (202,204) コントローラの電源を ON にしますと自動的に「新しいハードウェアの検出ウィザードの開始」が起動します。(下図参照)

4. ここでは自動的に「Composite USB Device」が2回認識されますのでそのまま選んでインストールを完了してください。(下図参照)

< 説明 >

これは本デバイスドライバがインストールファイル USB.INF に登録されていないためにプラグアンドプレイの機能が Composite USB Device を認識した結果です。

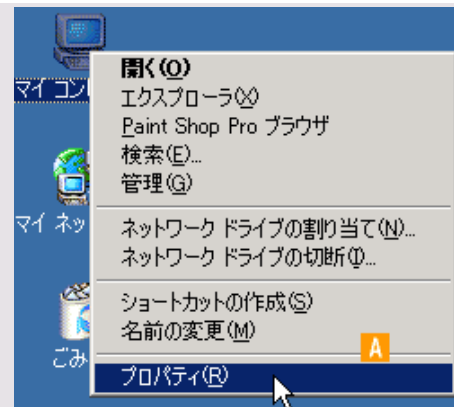


5. SGUSB デバイスドライバに変更します。

デスクトップにある[マイ コンピュータ]をマウスで右クリックして表示されるプロパティ メニューの[プロパティ]を実行します。

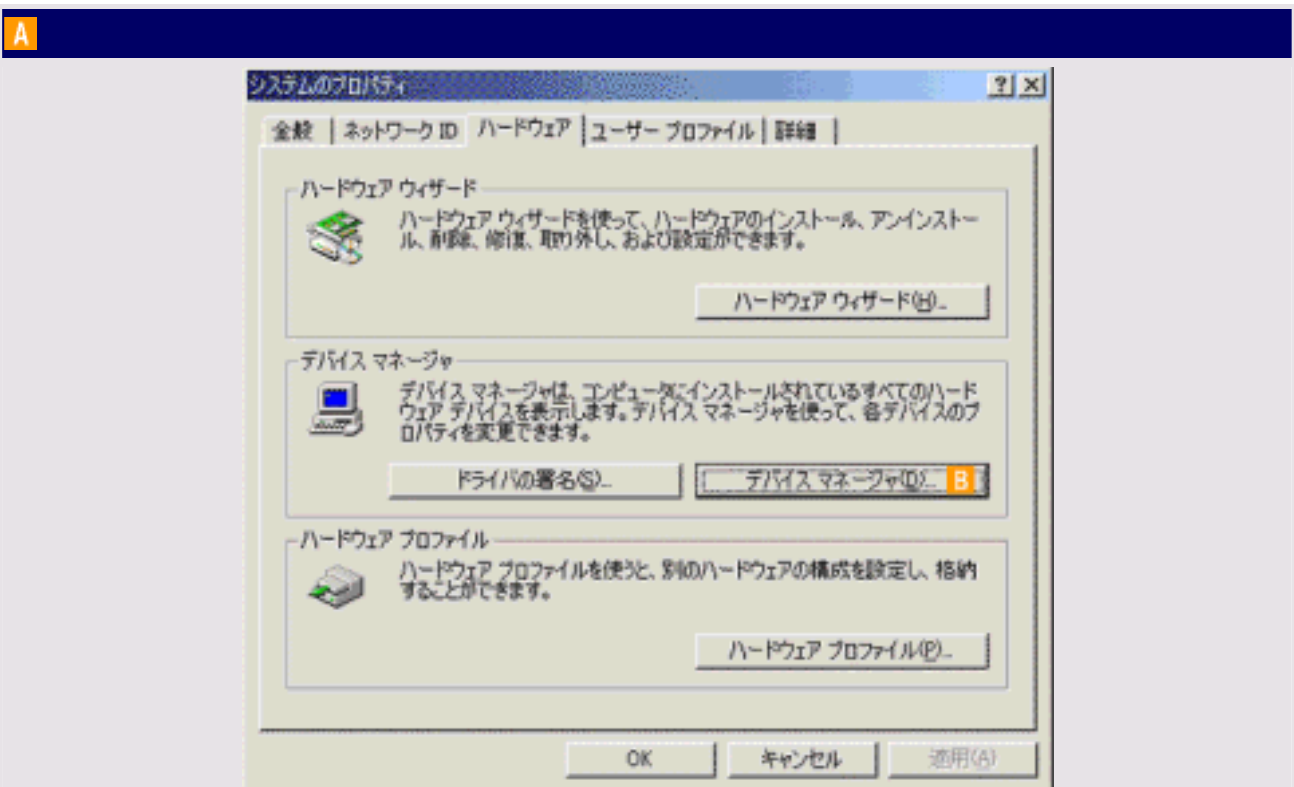
[マイ コンピュータ]アイコンを右クリックして表示されるプロパティメニュー

デバイスドライバを手作業で指定するには、デスクトップにある[マイ コンピュータ]をマウスで右クリックすると表示されるプロパティメニューの[プロパティ]を実行する。



A [マイ コンピュータ]アイコン上でマウスの右ボタンをクリックすると、このようなポップアップ メニューが表示される。ここで[プロパティ]を実行する。 **A** へ

すると、[システムのプロパティ]というダイアログボックスが表示されるので、[ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]グループボックスにある[デバイス マネージャ]ボタンをクリックします。



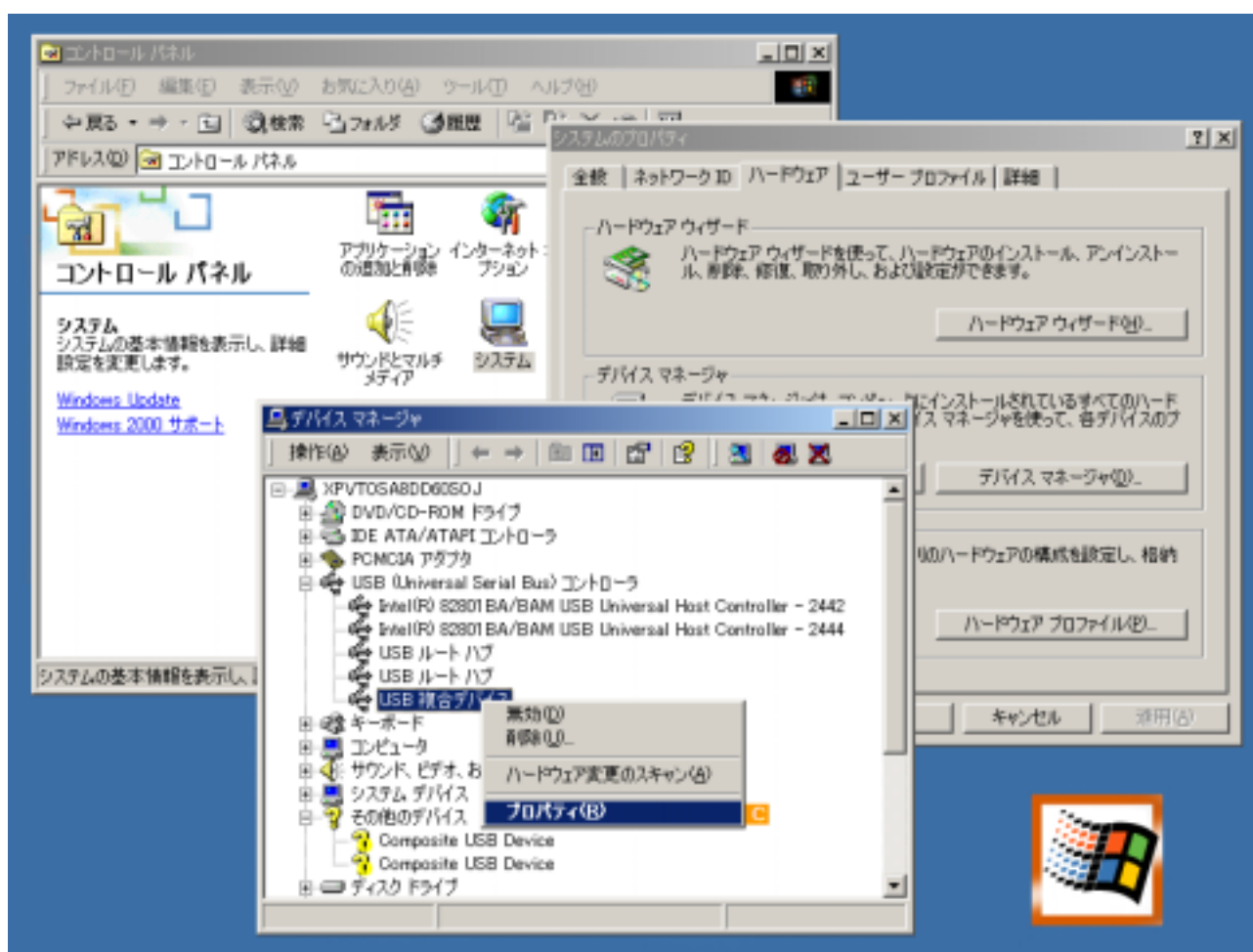
[システムのプロパティ]ダイアログの[ハードウェア]タブ

ここから、デバイスの状態の確認や、設定変更を行うツールであるデバイス マネージャを起動できる。

B このボタンをクリックしてデバイス マネージャを起動する。 **B** へ

デバイス マネージャは、システムに接続されたデバイスを一覧表示し、これらの設定を確認したり、変更したりするためのツールです。今回はここからデバイスドライバの更新を行いますが、それ以外にも、何らかのハードウェアトラブルが発生した場合には、デバイス マネージャで現在のデバイスの状態を確認すると、原因を特定したり、トラブルを解消したりすることができます。

デバイス マネージャでは、次のように各デバイスがツリー表示されます。特定のデバイスに関する詳細情報を表示したければ、各項目の左側にある「+」ボタンをクリックします。下の画面は、この方法により、今回操作する「USB コントローラ」の詳細を表示したところです。

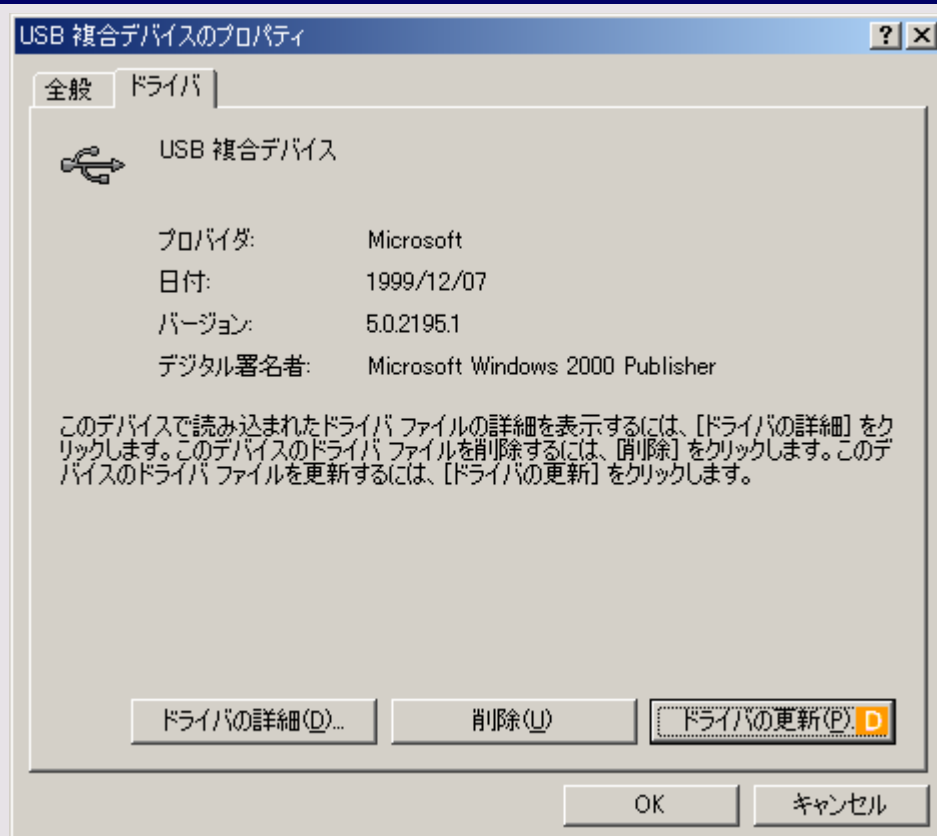


デバイス マネージャ

たりするためのツールである。NT 4.0 には、このように集中的にデバイスを管理するためのツールがなかったが、Windows 2000 では、Windows 9x と同様のデバイス マネージャが追加された。画面は、「USB コントローラ」項目の左側にある「+」ボタンをクリックし、詳細を表示したところ。

C この部分をダブルクリックして、デバイスのプロパティを表示する。 **C** へ

このデバイスツリーから特定のデバイスの項目をダブルクリックすると、当該デバイスのプロパティ ダイアログボックスが表示されます。

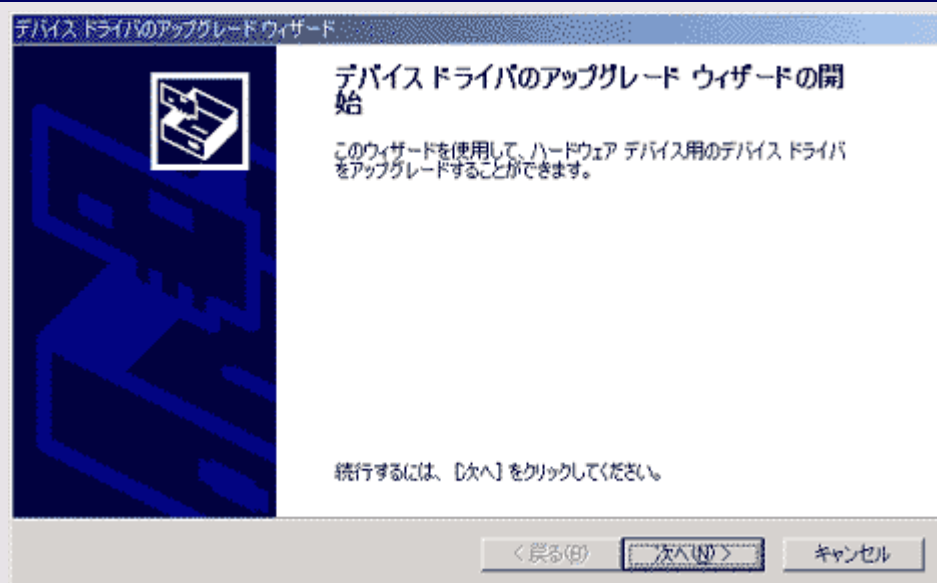


デバイスのプロパティ ダイアログボックス - [ドライバ] タグ

デバイスのプロパティでは、各デバイスごとの詳細な設定や確認などが行える。ドライバを手作業で指定するには、ここで[ドライバ] タグをクリックする。

D デバイスドライバを更新するには、このボタンをクリックする。 **D** へ

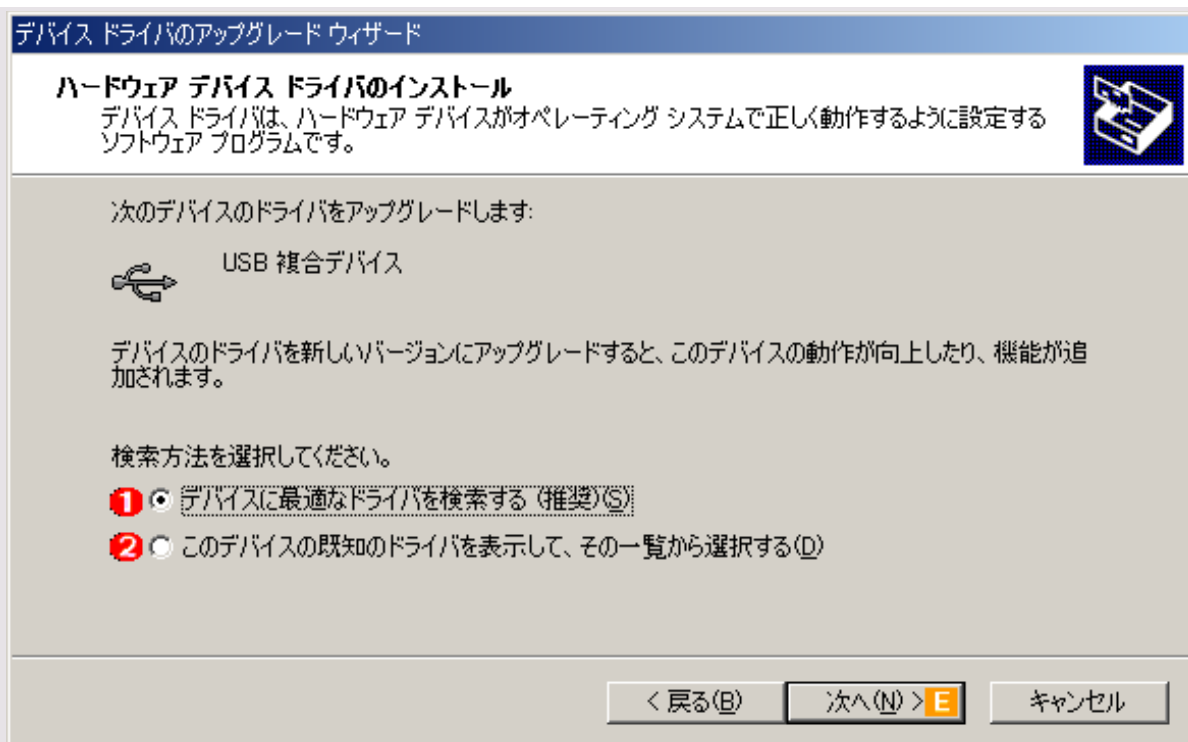
このデバイスのプロパティダイアログでは、デバイスの現在の状態(有効になっているか、正しく動作しているか、など)や、デバイスごとのパラメータ設定、現在のドライバ バージョンの確認、ドライバの更新、使用リソースの確認と変更などが行えます。デバイスドライバを手作業で指定するには、ここで右下部分にある[ドライバの更新] ボタンをクリックします。



デバイス ドライバのアップグレード ウィザード

Windows 2000 では、ドライバの更新もこのようなウィザード形式で行うようになった。このウィザードでも、デフォルトではデバイスを自動検出して、適切なドライバを自動的に組み込む設定になっているが、デフォルト以外の指定を選ぶことで、任意のドライバを組み込むことが可能である。

[ドライバの更新] ボタンをクリックすると、このような[デバイス ドライバのアップグレード ウィザード] が起動されます。インストール時の処理と同様、デフォルトでは、ウィザードがデバイスを自動的に認識して、最適だと判断されたドライバが推奨される設定になっているのですが、手動設定を選択すれば、任意のドライバを組み込むことが可能です。

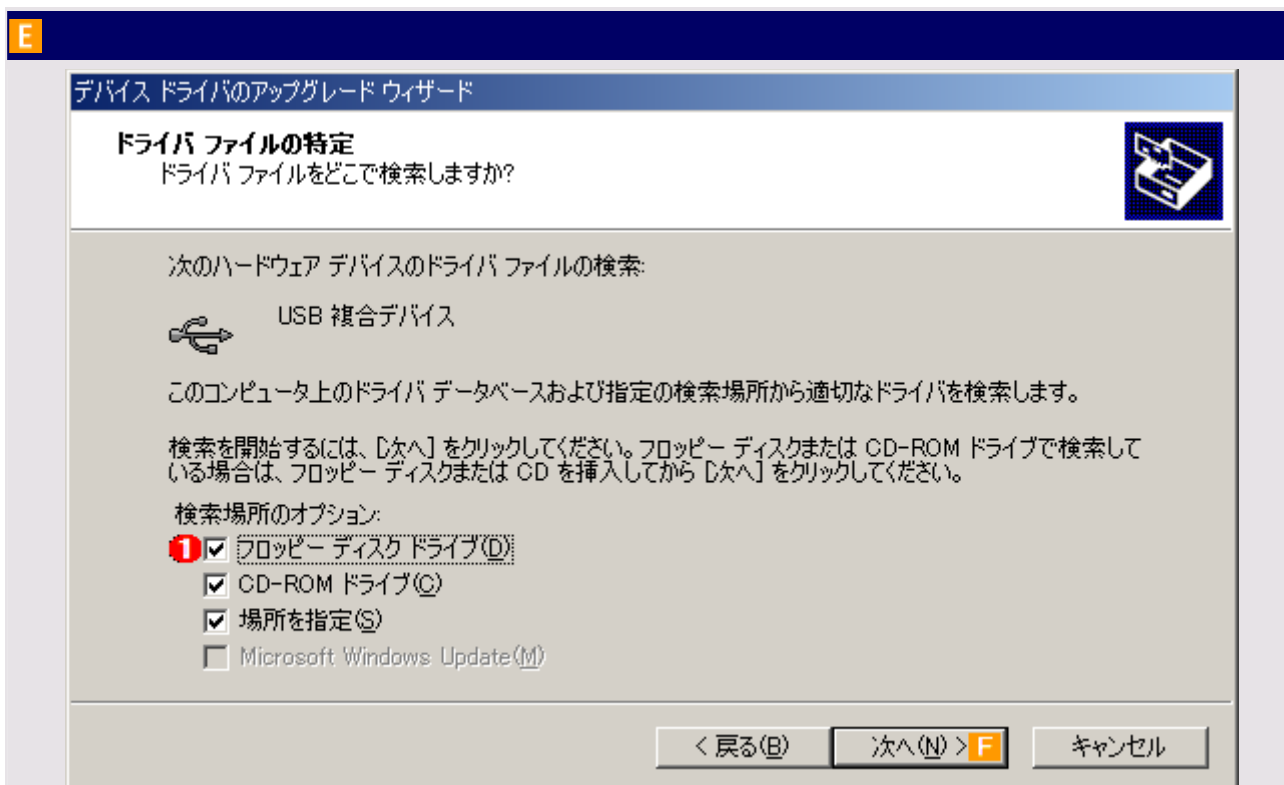


デバイス ドライバの検索方法を指定

ここではデバイスドライバの検索方法を指定する。任意のドライバを指定するには、[このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する]を選ぶ。

- | | |
|---|--|
| ① | ウィザードに最適なデバイスを検索させる場合はこちらを選択する(デフォルト)。 |
| ② | 一覧から手作業でドライバを指定するには、こちらを選択する。 |
| E | ここをクリックして次に進む。 Eへ |

ドライバを自動的に認識させるには、ここで[デバイスに最適なデバイスを検査する](推奨)を選択し、[次へ]をクリックします。

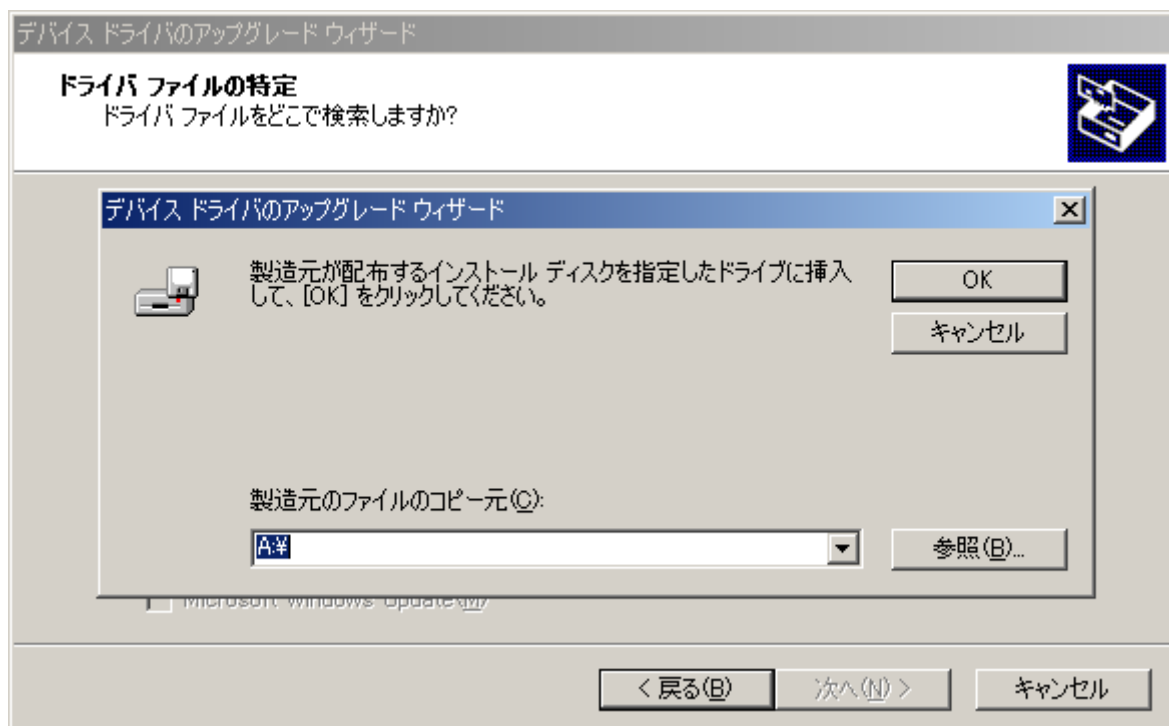


ドライバファイルの特定

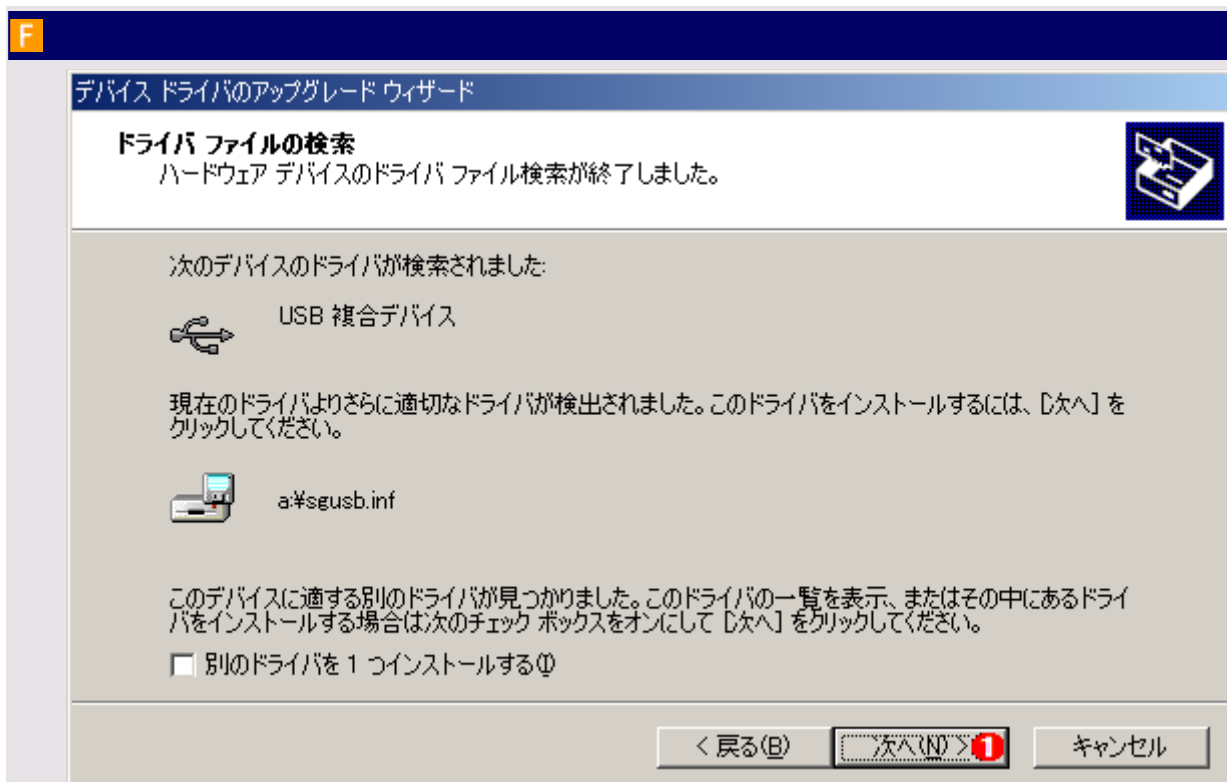
ここではデバイスドライバの検索場所を指定する。任意のメディアを指定するには、[検索場所のオプション]から選択する。

- | | |
|---|----------------------|
| ① | 自動識別で発見させるメディアを選択する。 |
| F | ここをクリックして次に進む。 Fへ |

ドライバファイルの特定では自動的にドライバを認識させるには、[検索場所のオプション]で検査対象となるメディアを選択します。ここではフロッピーディスクドライブを選択し、[次へ]をクリックします。



フロッピーディスクドライブにインストールディスクを挿入して[製造元のファイルのピー元(C:)]を“A:¥”にします。[OK]をクリックしますとフロッピーディスク内の検索が開始されます。

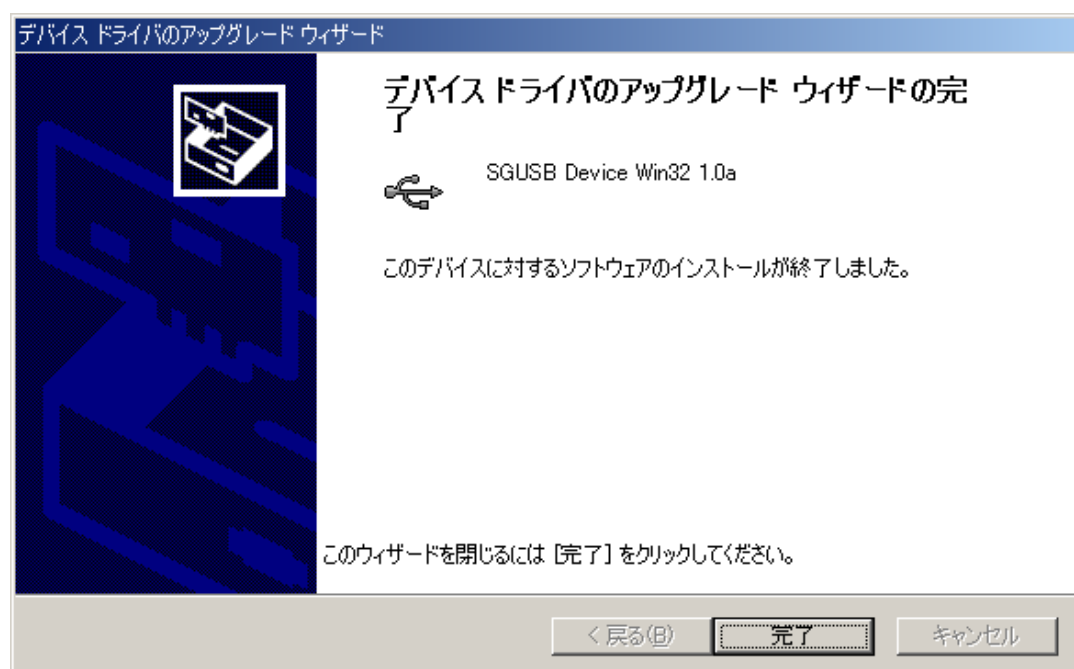


デバイス ドライバの検索

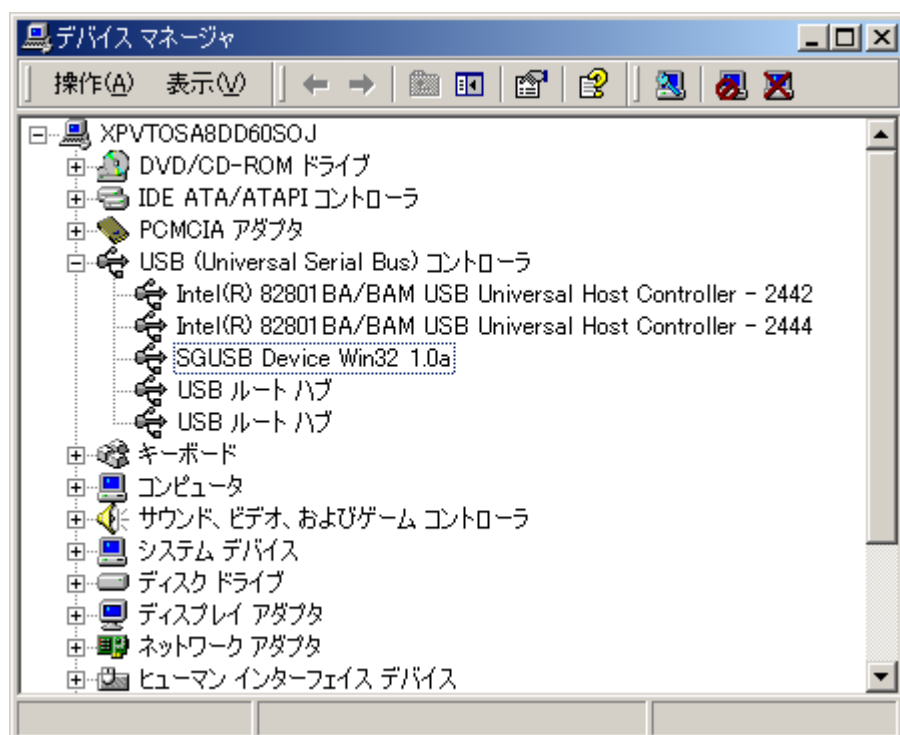
当該デバイス(デバイス ドライバ)が検出されると、この画面のようにデバイス用インストールファイルを表示する。正しければ①[次へ]をクリックすると、選択したデバイス用のデバイス ドライバが組み込まれる。この例では、Mark シリーズ用ドライバを検出している。

まずは[製造元]のハードウェア ベンダ「シグマ光機」から提供しているインストールディスク内を検索します。当該デバイスドライバがフロッピー内から検出されました、インストールファイル名(a:¥sgusb.inf)が表示されますので、正しければ[次へ]ボタンをクリックします。すると、検出したデバイス用のドライバが組み込まれます。

正常にドライバが組み込まれたら、下図のように「デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了」が表示されますので「完了」をクリックします。



最後に再びデバイスマネージャを起動し当該デバイスが組み込まれたことを確認します。



お問い合わせ

本アップデートサービスのお問い合わせは以下までお願いいたします。

【お電話でのお問合せ】

シグマ光機(株)技術センター

TEL : 076-274-6101

FAX : 076-274-6106

受付時間 : 月～金 9:00～17:00 (祝祭日、年末年始等を除く)

【ホームページからのお問い合わせ】

[こちら](#) からお問い合わせください。

<http://www.sigma-koki.co.jp/inquiry/index.html>

E-mail : info@sigma-koki.co.jp